

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備科) 令和5年度																		
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携		
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任			
1	○			エンジン構造 I	4ストロークガソリンエンジン概要、潤滑装置、冷却装置、電子制御装置 ディーゼルエンジン概要	1通	44		○			○				○		
2	○			シャシ構造	動力伝達装置の構成する各機構の構造、作動を理解する プロペラシャフト、ディファレンシャル、タイヤ、ホイール、アクスル、サスペンション、ステアリング、フレーム、ブレーキ	1通	58		○			○					○	
3	○			電装品構造	自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する バッテリーの構造、機能、整備を理解する 始動装置、点火装置、充電装置、計器	1通	44		○			○					○	
4	○			自動車工学 I	自動車の基本的な構造、構成部品を理解する 燃料、油脂、材料について学ぶ 工学基礎計算を理解する	1通	36		○			○					○	
5	○			整備機器取扱 I	自動車を整備する上での工具、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解する	1前	13		○			○					○	
6	○			安全作業	安全教育 工具の扱い方 作業に潜む危険	1前	2				○	○					○	
7	○			車両1 (日常点検)	日常点検作業を教える。 補機ベルトの交換作業を教える。 油脂類の交換作業を教える。(エンジンオイル、デフオイル、ミッションオイル)	1前	32				○	○					○	○
8	○			エンジン1 (計測器取扱)	工具選択の重要性を教え、常に工具選択を意識させること。 エンジンの主要部品の名称がわかるようにする。 4サイクル・エンジンの作動が分るようにする。	1前	16				○	○					○	○
9	○			計測1 (計測器取扱)	計測器の名称、使い方を理解させる。	1前	16				○	○					○	○

10	○		電気1 (電気計測)	サーキットテスターを用いた電圧、電流、抵抗測定方法を教える。 オームの法則を用いた電気回路の計算方法を教える。 電圧分布より断線箇所の絞込み方法を教える。 圧着ペンチを用いて電気回路の作製 (配線接続) 方法を教える。	1 前	32									○	○				○	○
11	○		エンジン2 (エンジン分組)	潤滑・冷却装置について理解させる。 スーパーチューナーの取扱が出来るようにする。 バルブ・クリアランスの点検、調整が出来るようにする。	1 前	16									○	○				○	○
12	○		計測2 (エンジン分組)	エンジンの各部品の計測	1 前	16									○	○				○	○
13	○		シャシ2 (パワトレ)	クラッチの交換作業が正確に実施できる。 トランス・ミッションの構造・作動を理解する。	1 前	32									○	○				○	○
14	○		シャシ1 (ブレーキ)	ブレーキ装置の分解・組付けが正確に出来る。 ブレーキ装置の調整が正確に出来る。 エア抜き作業が確実に行える。	1 前	16									○	○				○	○
15	○		工作 (ブレーキ)	鋼材からブレーキドラム外しを作成する	1 前	16									○	○				○	○
16	○		電気2 (車体電装)	配線図集の使い方を理解させる。 回路の抜き出しを教える。 故障探求の基本を教える。	1 後	32									○	○				○	○
17	○		エンジン3 (電子制御)	エンジン電子制御装置の各部品の役割、作動を理解する コンサルトIIを使用してデータモニタ、自己診断結果の画面を表示し読み取る 回路図を見ながら、計測する 主要なセンサを脱着する	1 後	32									○	○				○	○
18	○		シャシ3 (サスペンション)	真空式制動倍力装置の構造、作動を理解させる。 サスペンションの種類、特徴を理解させる。 ドライブシャフトを車両から脱着出来るようにする。 ドライブシャフト・ブーツの脱着を出来るようにする。 ストラットを車両から脱着出来るようにする。	1 後	32									○	○				○	○

19	○		電気3 (エンジン電装)	始動、充電、点火装置の重要性を理解させ基本構造、電流の流れを理解する。 始動、充電、点火装置の分解・組付けが正確に出来る。 マグネットSWの構造、単体点検が出来る。 ボルテージレギュレータの役割、充電回路の電圧測定が出来る。 イグニションコイルの役割、点火回路の抵抗測定が出来る。	1 後	32							○	○					○	○
20	○		車両2 (1年点検)	1年点検業務の流れを理解させる。 中間報告など、整備に関する説明の難しさを伝え、分かりやすい説明をするために、どのような準備が必要かを理解させる。 整備マニュアルを使い、自発的に基準値等を調べられるようにする。	1 後	32							○	○					○	○
21	○		シャシ4 (ステアリング・デフ)	ファイナル&ディファレンシャル構造を理解する。 歯当りの調整方法を理解する。 プレロードとバック・ラッシュの調整方法を理解する。 ステアリング・ギヤの構造・作動を理解する。 ステアリング・ギヤの調整方法を理解する。	1 後	32							○	○					○	○
22	○		エンジン構造Ⅱ	ガソリンエンジンの構造、作動を理解、電子制御装置を理解、ガソリンエンジンの故障原因診断	2 通	24				○				○						○
23	○		自動車工学Ⅱ	性能曲線、工学基礎計算	2 前	14				○					○					○
24	○		エンジン整備	インジェクションポンプ、ジーゼルエンジンの故障原因探求、電子制御式インジェクションポンプ	2 通	32				○					○					○
25	○		シャシ整備	ステアリング装置、ホイールアライメント、動力伝達装置の整備、故障原因探求	2 前	42				○					○					○
26	○		電装品整備	バッテリーの特性、エアコンディショナの構造、作動、整備	2 後	20				○					○					○
27	○		自動車整備応用	工学科目の総合演習	2 前	28				○					○					○
28	○		検査法規	道路運送車両法、保安基準	2 前	26				○					○					○
29	○		整備機器取扱Ⅱ	自動車検査用機器の取り扱いを理解	2 後	8				○					○					○

39	○		車両5 (TS 実技)	フロントディスクブレーキの点検 暗電流の点検 パワーウィンドシステムの点検 整備結果説明のロープレ	2 後	32					○	○			○	○
40	○		電気6 (E V)	低電圧取扱の基礎知識 EV (リーフ) に関する基礎知識 CAN通信に関する基礎知識	2 後	32					○	○			○	○
41	○		車両4 (サー ビス商品)	ウインドガラスの調整 オプション品の装着 ボディコートの施工	2 後	32					○	○			○	○
42	○		車両6 (2年点 検)	法廷点検の習熟	2 後	32					○	○			○	○
合計					42科目	1159単位時間										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各教科とも期末試験を実施し、60%以上で合格となる。 3年以上在籍し、全教科を履修することにより卒業が認定される。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。